

2022.4.5

サンクゼール 工場の使用電力を CO2 フリー化へ 製造過程の CO2 排出量削減に向け強化

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に約 150 店舗展開している、食品製造小売企業（食品 SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2022 年 4 月 6 日（水）より、食品製造工場（飯綱町）及び関係施設において、中部電力ミライズ株式会社（本社：愛知県名古屋市/代表取締役社長執行役員：大谷真哉）が提供する CO2 フリー電気「Green でんき」へ切り替えます。

中部電力ミライズの CO2 フリー電気「Green でんき」の使用

中部電力ミライズの CO2 フリー電気「Green でんき」は、中部電力ミライズが調達した電気に、中部電力グループが保有する水力発電所などの再生可能エネルギー電源に由来する非化石証書の使用により環境価値を付加することで、実質的に再生可能エネルギー100%かつ CO2 ゼロエミッションの電気を事業者提供します。

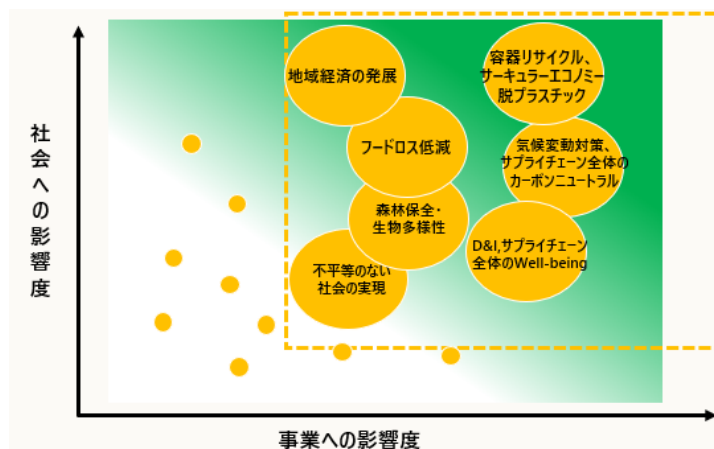
この取り組みは、サンクゼールの食品製造工場及び関係施設で中部電力ミライズの CO2 フリー電気「Green でんき」を活用することで、実質的に排出される CO2 ゼロを目指すものです。これにより年間使用電力量約 1,534MWh（メガワットアワー）に対して、二酸化炭素約 581 トンの排出削減を見込んでいます。また、「Green でんき」の料金の一部は、中部電力グループの再生可能エネルギーの開発や維持メンテナンスに活用されるため、「Green でんき」の使用を通して、再生可能エネルギーの普及拡大にも貢献してまいります。

サンクゼールのサステナビリティ

サンクゼールは、サステナビリティの 7 つの重要項目（マテリアリティ）を取り上げ、2035 年までに会社として目指す姿を設定しました。この重要項目をもとに、サンクゼールは本業とする食品の製造販売を通じて持続可能な社会の実現に貢献するための活動を今後さらに推進してまいります。今回の電力の切り替えは、②気候変動対策、サプライチェーン全体のカーボンニュートラルの項目に対する取り組みです。

サンクゼールの 7 つのマテリアリティ

- ①容器リサイクル、サーキュラーエコノミー、脱プラスチック
- ②気候変動対策、サプライチェーン全体のカーボンニュートラル
- ③D & I、サプライチェーン全体の Well-being
- ④地域経済の発展
- ⑤フードロス低減
- ⑥森林保全、生物多様性
- ⑦不平等のない社会の実現（経済、教育格差）



ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。